

名前：

近年、技術の向上にシダガッて、インターネットという媒介で作業をする人もだんだん増えてきているそうだと。また、仕事の場合に使われているだけではなく、日常生活とインターネットとの繋がりも明らかに強くなってきた。そういう傾向で、新聞とか雑誌とかいった物はインフォメーションを集める能力が強いインターネットに変わるべきだと呼ぶ声も出てきている。

その意見に対して、私には反対の考えを持っている。まず、コンピューターの普及率とインターネットをする事ができるかどうかという問題です。台湾の社会を例として、M型社会と呼ばれるように、最近お金は上流階層に集まっていって、お金持ちと貧乏の人の差が大きくなりました。^{ゆえに}コンピューターを買うお金がない人に対して、自分が生きている社会の動きとかを知りたい気持ちはお金持ちとは同じだと思っている。だから、もし新聞や雑誌などより安い物は捨てられれば、彼等にと

って大変不公平だと考えている。次、インターネットの使い方は簡単だとは言えるが、お年寄りとかにとって、新しい技術が苦手だし、学習能力も記憶力も衰えてきているので、新聞や雑誌など紙に載せてある記事は分かりやすいと思っている。

また、新聞と雑誌は具体的な物で、保存できる面から見ると、その価値も見落せないと思っている。

以上述べているように、私にとって、インターネットには資料を調べるスピードの速い利点があるが、新聞と雑誌はニュースの普及とか、保存してメモリーにするのにも優れているので、新聞と雑誌は必要だと思っている。